

Weekly Report



事務局：460-0003

名古屋市中区錦1-13-19
名錦ビル7F

TEL: 052-211-3803

FAX: 052-211-2623

MAIL: 2760_nagoya@mizuho-rc.jp

URL: http://www.mizuho-rc.jp/

創立：1980年(昭和55年)1月10日

会長：梅村 昌孝

幹事：湯澤 眞生

クラブ委員長：北岡 寿人

例会日：毎週木曜日PM12:30～

会場：ヒルトン名古屋

2022-23年度
名古屋瑞穂ロータリークラブ
会長のテーマ

「かけがえない時間を取り戻そう」
～ウイズコロナ・ポストコロナ時代に向けて～

2022-23年度
国際ロータリーのテーマ
大きな夢をかなえた
ロータリーを想像して
(IMAGINE ROTARY)

第2047回例会

～母子の健康月間～

クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2023年4月20日(木) 晴 第34回例会

司会：広瀬弘幸 会場委員

斉唱：「それでこそロータリー」「四つのテスト」

ゲスト：株式会社グローバルアスリート代表取締役 杉村大介さん
米山奨学生 DAO THI THU NGAN さん

会長挨拶

梅村昌孝会長

皆さん、こんにちは。インドの人口が中国を抜いて14億2900万人ということ。一方、日本は少子化のために人口減少を続けています。何がちがうのでしょうか？

日本では39歳までに結婚をしている男性は55%、女性は63%だそうです。結婚する方が少ないと思いませんか？男女あわせて39歳までに結婚している方は約6割で、約4割は独身ということです。調査ではその4割の独身者のうち4人に1人が「結婚願望はない」と答えています。すなわち、子育て世代の60%が「既婚者」、30%が「結婚希望はあるが独身」、残りの10%は「結婚する気がない独身」です。最近、少子化の問題が取りざたされていますが、実際は子育て世代の約半分しか結婚しておらず、あとの約半分は未婚で独身です。

未婚の方の出産(婚外子)が著しく少ない日本では、少子化は当然かもしれません。現在、婚外子は約2%、戦前は約10%でした。日本では少子化問題の前に、子育て世代の晩婚化・非婚化の問題の解決が先のようにも思います。ちなみに、ヨーロッパでは出生児の約半分は婚外子のようなのです。子育て中の母親の半分は未婚です。ヨーロッパでは未婚の母は当たり前のようなのです。

日本の若者が結婚をしない理由は様々のようですが、最も多かったのは「結婚に縛られず自由でいたい」というもののようなのです。結婚すると束縛されて、自由を失うと考えているようです。どうもそう思うのはお互いに交流が少ないために、異性のことをよく理解できていないためとも言われています。他の調査では20代の独身男性の約40%がデートをしたことがない、独身女性の約25%がデートをしたことがないと回答しています。若い男性の約半分、女性の1/4がデートをしたことがないとは驚きです。

しかし、男性より女性の方が圧倒的にデート経験の多いのはなぜでしょう？



- ・ 杉村さん、卓話楽しみにしています。よろしく願います。 **今川 知也さん**
- ・ 今年度の米山奨学生 ダオティトゥガンさん、今日から出席です。皆さんよろしく願います。 **市岡 正蔵さん**
- ・ 関谷さん、堀さん、田中さん、ゴルフ例会では大変お世話になりました。とても楽しくプレーさせて頂きました。 **中嶋 修さん**
- ・ 長瀬さん優勝おめでとうございます。 **原田 敬生さん**
- ・ 18日のゴルフ例会では、野崎さん、宮崎さん、渡辺さんには大変お世話になりました。 **長瀬憲八郎さん**
- ・ 先日、今シーズン1本目の250kgの沖縄美ら海まぐろを購入。この沖縄が終わると冬に向かい本マグロが北上していきます。楽しみです。 **萩原 孝則さん**
- ・ 本日脳ドックに行ってきました。特に問題なく良かったです。 **岡部 光邦さん**
- ・ 杉村さん、卓話楽しみです。 **内藤 晶文さん 杉山 裕一さん**

幹事報告

湯澤眞生幹事

- ・ 4/20(木)通常例会
13:40～4F「桜の間」新旧クラブアッセンブリー・理事会
- ・ 4/27(木)・5/4(木) R規定により休会
- ・ 5/11(木)通常例会
12:30～4F「竹の間」
13:40～4F「桜の間」第6回クラブアッセンブリー・第11回理事会
- ・ 事務局 ゴールデンウィーク休暇 (ガバナー事務所同様)
2023年4月29日(土・祝)～2023年5月7日(日)

奨学金授与

DAO THI THU NGANさん



私は星城大学経営学部4年のダオティトゥガンと申します。ベトナムのバリアブントウというホーチミンからバスで2時間ぐらいのところからきました。海の近くですので、皆さん是非チャンスがありましたら来て頂けたら嬉しいです。

今年は、名古屋瑞穂RCに参加させて頂きまして、本当にありがとうございます。これからいっぱい日本の知らないことがあるかと思しますので、是非教えていただけたら嬉しいです。よろしく願います。

出席報告

中嶋 修 出席委員

会員68名 出席52名 (出席計算人数53名)

出席率 82.54%

ニコボックス

中嶋 修 ニコボックス委員

- ・ 4/28は結婚記念日です。 **関谷 俊征さん**
- ・ 妻の誕生日にきれいなお花をありがとうございました。とても喜んでおりました。 **山崎真一郎さん**
- ・ 妻の誕生日にお花いただきました。ありがとうございます。 **安井 友康さん**

委員会・同好会報告

ゴルフ部会4月度 (434回)

開催日:4月18日(火)

愛知カンツリー倶楽部にて第434回ゴルフ部会が開催されました。

氏名	グロス	HDCP	ネット
優勝 長瀬憲八郎さん	98	21	77
2位 堀 慎治さん	78	4.9	73.1
3位 福岡 逸人さん	71	-2.5	73.5

この度はこういった機会を頂戴いたしました。誠にありがとうございます。本日は榎田さんのご紹介にてこの場に立たせていただいております。榎田さん、いつもありがとうございます。



私は株式会社グローバルアスリートの代表取締役、杉村大介と申します。どうぞよろしく申し上げます。このグローバルアスリートという会社は、サッカー名古屋グランパスやプロフットサルチーム名古屋オーシャンズのスポンサーシップ・マーケティングという、「スポーツを活用して企業活動の活性化」をご提案する仕事をしております。ですが、実は私は二つの会社を経営しております。本日はそのグローバルアスリートの業務ではなく、関連会社であり、もともと約20年ほど経営しております「株式会社UNICO MANAGEMENT」という会社の事業のお話をさせていただきたいと思っております。

この「UNICO MANAGEMENT」という会社の主要事業は、先ほど申し上げましたプロフットサルチーム「名古屋オーシャンズ」の公認下部スクールの運営・展開をしております。また、フットサル施設も3施設ほど運営しております。簡単にご説明させていただきますと、まずフットサルという競技は、5人対5人で行われ、ハンドボールと同じ広さで、公式戦は体育館など室内で行われる競技です。

そして「名古屋オーシャンズ」とは日本初のプロフットサルチームであり、日本フットサルリーグ(Fリーグ)に所属しているチームです。このFリーグ16年の歴史で15回優勝しております。アジアでも4回チャンピオンになっているチームでございます。

このオーシャンズのジュニアフットサルスクールを弊社が業務提携をして運営しているわけですが、愛知県・三重県にて15会場、生徒数は約1000名ほど在籍しております。サッカー王国ブラジルでは、サッカー選手は幼少期にフットサルから始めることはスタンダードです。ブラジル代表のネイマール選手もその一人です。元スペイン代表のイニエスタ選手も同じように子供の頃フットサルをやりました。

今でこそ、スクールは1000名規模に成長し活動しておりますが、スクール立ち上げ当初は生徒数0からで、もちろん私一人で、縁もゆかりもない三重県四日市市でピラ配りからスタートしました。その当時は実はオーシャンズとの提携はまだしていませんでした。生徒数が300名から400名ほどの時に提携を結びまして今に至っております。

【スクール事業に対する想い】

さて、そもそも私がこのサッカー・フットサル業界に身を置く理由・きっかけとしましては、やはり自分自身が子供の頃からサッカーをやっていたということが大きな理由でございます。最初は完全にキャプテン翼の影響から始めました。私は名古屋市昭和区出身で、高校は中京高校サッカー部、大学は愛知学院大学サッカー部と県内強豪チームでプレーをし、大学2年時には一年間休学をしてプロを目指してブラジルへサッカー留学するほどでした。帰国して大学サッカー部に戻り、キャプテンとして卒業までプレーをいたしました。その後、プロの道をあきらめ、社会人としてプレーすることも選択せずに、飲食店などの仕事も経験しました。

この飲食店は、親がやっていた店を継いだ形で入り、自分で新しい店なども出店しましたが、30歳ごろに、私のそれまでの人生のバックボーンであるサッカーが一番の強みだと思い、その強みを活かした仕事としてスポーツ業界を選択をいたしました。当時の私のできることで、指導者として私のこれまでの経験だけでなく、さらにサッカーを学び、「人に教える」ということを学びながら、選手を育成する道を選択しました。

そして、現場で指導を10年以上した後、現在では同じようにコーチとして志を持つ若い人材を10名ほど社員として迎え、そのコーチたちの環境をマネジメントする、経営者としての仕事をしております。そういった現場としての経験や、経営者としての運営している中、感じたことがあります。それは、「社会におけるスポーツの意味とは?」ということ。私どもはフットサルスクールですので子供たちにボールを足で扱うことなどの、プレーをするスキルを教授しています。その中で、子供たちがプロを目指す「夢や目標」を持ってくれること

は、スクールを運営するにあたって重要なことだと思います。

実際に当スクールからもJリーガーを何名か輩出しております。しかしながらシビアな言い方ですが、もちろん全員がプロになれる訳ではありません。競争の世界ですので、ほんの一握りしかプロになれないのが現実です。それは、私自身が身を持って経験していることです。

【子供にとってのスポーツの価値とは?】

では、ほとんどの子がプロ選手になれないなら私たちのやっていることは何なのか?指導者は、子供にスキルアップさせることに重点を置き、子供自身も夢や目標を持って取り組む。それは本当に素晴らしいことだと思います。ただ、それが叶わなかったら無価値なのでしょうか?ほんの一握りの人しかプロになれないのだから、ほとんどは無価値なのではないでしょうか?

一体、スポーツを幼少期に取り組むことの価値とはなんなのでしょう。競技スキル以外で何が得られるのでしょうか?私は一つでは無いと思っています。たくさんあります。

代表的なものを挙げますと…

- ① 心の健康(楽しいということが一番大切です)
- ② 身体健康(大人になっても強い身体、健康第一!)
- ③ 自己肯定感(出来ないことができると自信になります)
- ④ コミュニケーションスキル(チームスポーツは特に育まれます)
- ⑤ レジリエンス(耐性。昔は根性と呼んでいた?)
- ⑥ 問題解決能力(実は人生を生き抜くために必要なこの能力がスポーツでは繰り返されています)Etc…

その子の個性があるので、全てが得られるとは思っていませんし、スポーツだけがそれらを得られるものだとは思っていません。しかし、プロ選手になれなくてもこれだけのことを育む機会をスポーツによって得られることができます。もちろん、サッカー・フットサル以外の他のスポーツでも同じです。スポーツの種類によって特徴は多少変わりますが子供の内面的・外面的な成長に有効なことは言うまでもありません。

以上の事から、私たちがフットサルを通じて提供していること、それは人を育てる「人財教育」であり、「社会におけるスポーツの意味」の一つがここにあると私は信じています。

【あしあとプロジェクトについて】

さて、それらのことを当スクールでは、「スクールに通うことができない子供たち」に対しても少しでも提供する責任があると感じ、我々のできる社会貢献の一つとして児童福祉施設の子供たちへの無料巡回教室「あしあとプロジェクト」を今年からスタートさせました。この「あしあとプロジェクト」の名前の由来は、スポーツをするグランドなど地面に足跡がたくさんつくと思いますが、「どんな子供でもスポーツをたくさん楽しんでほしい」との想いから、付けられた名前です。

日本一のチームである名古屋オーシャンズの名前を背負っているスクールである以上、地域社会において意味のある役割をする必要があると私は感じています。我々のできるフットサルというスポーツを通じて、少しでも皆様から応援される行いをしていきたいと思っております。

最後に、この「あしあとプロジェクト」の活動を中心に、当スクールも「スポンサー企業様」を募っています。協賛していただくことで、その会社様のCSRとしての広報発信をすることができます。またこの活動に社員様も一緒に参加していただくことも可能で、地域貢献活動を社員の方々に実際に経験してもらい、普段の業務とは関係ないかもしれませんが、「人として視野を広げる」機会を提供することもできると思います。

協賛についての詳細は、この場では割愛させていただきますが、もし皆様の中にご興味のある方がお見えでしたら、ご連絡いただくと幸いです。本日は誠に、ご清聴ありがとうございました

例会のご案内

■今 週 R規定により休会

■次 週 R規定により休会

■次々週卓話 5月11日(木) ヒルトン名古屋4F「竹の間」12:30~
「いつ来てもおかしくない南海トラフ地震に備えを」
地区防災対策委員会 荒川 和生さん